

数学

京都大学[理系] (前期)

<全体分析>

| | | | |
|------|------|-------|----|
| 試験時間 | 150分 | 解答問題数 | 6題 |
|------|------|-------|----|

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・**変化なし**・増加) 難易 (易化・**変化なし**・難化)

出題の特徴

図形、整数、確率、微積等、頻出の分野から出題された。

その他トピックス

2、**4**では、近年あまり見られなかった誘導のための設問が出題された。

<大問分析>

| 問題番号 | 出題分野・テーマ | 範囲 | コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど) | 難易度 |
|----------|-----------------|---------|----------------------------|-----|
| 1 | 複素数平面 式と曲線 | III | 複素数平面上の点の軌跡を求める | 標準 |
| 2 | 図形の性質 空間ベクトル | A B | 正四面体であることの証明 正八面体の形状の把握 | やや難 |
| 3 | 三角関数 整数 | II A | 正接の加法定理 qの上限で考える | 標準 |
| 4 | 図形の性質 | A | 内心の存在範囲を考える | 標準 |
| 5 | 微分法 積分法 | III | 部分積分法を用いて面積を求め、その最小値を求める | 標準 |
| 6 | 確率 数列 | A B | 漸化式を用いて確率を求める | 標準 |

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

問題文を正確に読みとる力、解決への道筋を自分で考える力、考えたことを答案にうまくまとめ上げる力などが要求されている。普段の学習でも、単に問題を解くだけではなく、これらのことを念頭において学習しよう。